

林業地域調査票



指定統計第26号 農林業センサス
様式 調 第 12 号

昭和35年8月1日現在

1960年世界農林業センサス

林業地域調査票

都道府県名	
市郡名	
町村名	
旧市町村名	
基本計画区名	
森林区番号	

(農 林 省)

【1】造林用苗畑面積と苗木生産量〔属地〕

		★ 国 営			公 営			私 営					合計(マ)
		営 林 署 (イ)	そ の 他 の 官 庁 (ロ)	計 (ハ) [(イ)+(ロ)]	都 道 府 県 (ニ)	市 町 村 (ホ)	財 産 区 (ヘ)	計 (ト) [(ニ)+(ホ)+(ヘ)]	森 林 組 合 (チ)	苗 木 販 売 者 (リ)	自 家 養 成 (ヌ)	計 (ル) [(チ)+(リ)+(ヌ)]	
造林用苗畑面積		m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²	m ²
苗木生産量	針 葉 樹	スギ①	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本	本
		ヒノキ②											
		アカマツ③ クロマツ											
		カラマツ④											
		エゾマツ⑤											
		トドマツ⑥											
		その他針⑦											
		計 ⑧ [(①)+…+(⑦)]											
	広 葉 樹	クヌギ⑨											
		キリ⑩											
		その他広⑪											
		計 ⑫ [(⑨)+(⑩)+(⑪)]											
	合 計 ⑬ [(⑧)+(⑫)]												

(注) 苗畑面積は昭和35年8月1日現在、苗木生産量は昭和34年8月1日から35年7月31日の間に山行または出荷したもの

1	2	3	4	5
---	---	---	---	---

【2】土地面積と林野利用（林地）

保 有 形 態 別		林 野 の 利 用 地 種 別 面 積										林 野 で な い 原 野			
		総 数		針 葉 樹 林		広 葉 樹 林		竹 林		未 立 木 地		其 他			
		①		②		③		④		⑤		⑥			
		⑦		⑧		⑨		⑩		⑪		⑫			
		⑬		⑭		⑮		⑯		⑰		⑱			
		⑲		⑳		㉑		㉒		㉓		㉔			
		㉕		㉖		㉗		㉘		㉙		㉚			
		㉛		㉜		㉝		㉞		㉟		㊱			
		㊲		㊳		㊴		㊵		㊶		㊷			
		㊸		㊹		㊺		㊻		㊼		㊽			
		㊾		㊿		1		2		3		4			
		5		6		7		8		9		10			
		11		12		13		14		15		16			
		17		18		19		20		21		22			
		23		24		25		26		27		28			
		29		30		31		32		33		34			
		35		36		37		38		39		40			
		41		42		43		44		45		46			
		47		48		49		50		51		52			
		53		54		55		56		57		58			
		59		60		61		62		63		64			
		65		66		67		68		69		70			
		71		72		73		74		75		76			
		77		78		79		80		81		82			
		83		84		85		86		87		88			
		89		90		91		92		93		94			
		95		96		97		98		99		100			
		101		102		103		104		105		106			
		107		108		109		110		111		112			
		113		114		115		116		117		118			
		119		120		121		122		123		124			
		125		126		127		128		129		130			
		131		132		133		134		135		136			
		137		138		139		140		141		142			
		143		144		145		146		147		148			
		149		150		151		152		153		154			
		155		156		157		158		159		160			
		161		162		163		164		165		166			
		167		168		169		170		171		172			
		173		174		175		176		177		178			
		179		180		181		182		183		184			
		185		186		187		188		189		190			
		191		192		193		194		195		196			
		197		198		199		200		201		202			
		203		204		205		206		207		208			
		209		210		211		212		213		214			
		215		216		217		218		219		220			
		221		222		223		224		225		226			
		227		228		229		230		231		232			
		233		234		235		236		237		238			
		239		240		241		242		243		244			
		245		246		247		248		249		250			
		251		252		253		254		255		256			
		257		258		259		260		261		262			
		263		264		265		266		267		268			
		269		270		271		272		273		274			
		275		276		277		278		279		280			
		281		282		283		284		285		286			
		287		288		289		290		291		292			
		293		294		295		296		297		298			
		299		300		301		302		303		304			
		305		306		307		308		309		310			
		311		312		313		314		315		316			
		317		318		319		320		321		322			
		323		324		325		326		327		328			
		329		330		331		332		333		334			
		335		336		337		338		339		340			
		341		342		343		344		345		346			
		347		348		349		350		351		352			
		353		354		355		356		357		358			
		359		360		361		362		363		364			
		365		366		367		368		369		370			
		371		372		373		374		375		376			
		377		378		379		380		381		382			
		383		384		385		386		387		388			
		389		390		391		392		393		394			
		395		396		397		398		399		400			
		401		402		403		404		405		406			
		407		408		409		410		411		412			
		413		414		415		416		417		418			
		419		420		421		422		423		424			
		425		426		427		428		429		430			
		431		432		433		434		435		436			
		437		438		439		440		441		442			
		443		444		445		446		447		448			
		449		450		451		452		453		454			
		455		456		457		458		459		460			
		461		462		463		464		465		466			
		467		468		469		470		471		472			
		473		474		475		476		477		478			
		479		480		481		482		483		484			
		485		486		487		488		489		490			
		491		492		493		494		495		496			
		497		498		499		500		501		502			
		503		504		505		506		507		508			
		509		510		511		512		513		514			
		515		516		517		518		519		520			
		521		522		523		524		525		526			
		527		528		529		530		531		532			
		533		534		535		536		537		538			
		539		540		541		542		543		544			
		545		546		547		548		549		550			
		551		552		553		554		555		556			
		557		558		559		560		561		562			
		563		564		565		566		567		568			
		569		570		571		572		573		574			
		575		576		577		578		579		580			
		581		582		583		584		585		586			
		587		588		589		590		591		592			
		593		594		595		596		597		598			
		599		600		601		602		603		604			
		605		606		607		608		609		610			
		611		612		613		614		615		616			
		617		618		619		620		621		622			
		623		624		625		626		627		628			
		629		630		631		632		633		634			
		635		636		637		638		639		640			
		641		642		643		644		645		646			
		647		648		649		650		651		652			
		653		654		655		656		657		658			
		659		660		661		662		663		664			
		665		666		667		668		669		670			
		671		672		673		674		675		676			
		677		678		679		680		681		682			
		683		684		685		686		687		688			
		689		690		691		692		693		694			
		695		696		697		698		699		700			
		701		702		703		704		705		706			
		707		708		709		710		711		712			
		713		714		715		716		717		718			
		719		720		721		722		723		724			
		725		726		727		728		729		730			
		731		732		733		734		735		736			
		737		738		739		740		741		742			
		743		744		745		746		747		748			
		749		750		751		752		753		754			
		755		756		757		758		759		760			
		761		762		763		764		765		766			
		767		768		769		770		771		772			
		773		774		775		776		777		778			
		779		780		781		782		783		784			
		785		786		787		788		789		790			
		791		792		793		794		795		79			

【3】製 炭

— この【3】製炭の調査項目は1.(1)販売用製炭を行なった戸数・体数に該当があった旧市町村についてのみ調査する —

1. 昭和34年度中の製炭について〔属地〕

(1)販売用製炭を行なったもの……戸数・体数

(2)販売用製炭量……
 黒炭
 白炭
 計
 (比率)

(3)原木の依存先

①保有山林からの原木を主とするもの……

②購入原木を主とするもの……

①主に国有林材……

②主に都道府県有林材……

③主に市町村有林材や財産区有林材……

④主に私有林材……

自営製炭世帯 (イ)	企業製炭者 (ロ)	市町村・財産区 (ハ)	都道府県営 (ニ)	★国 営 (ホ)	その他 (ヘ)	計(ト) [(イ)+…+(ヘ)]
A	a					
M	m					
()%	()%	()%	()%	()%	()%	(100)%
B	b					
C	c					
D	d					
E	e					
F	f					
G	g					

(注) A=B+C, C=D+E+F+G, a=b+c, c=d+e+f+g

(4)昭和34年度中の製炭量の大きき別自営製炭世帯数と企業製炭者数

		製炭量の大きき別										計(ヌ)=A [(イ)+…+(リ)]
自営製炭世帯	戸数	50俵未満 (イ)	50～100俵 (ロ)	100～300俵 (ハ)	300～500俵 (ニ)	500～700俵 (ホ)	700～1,000俵 (ヘ)	1,000～2,000俵 (ニ)	2,000～3,000俵 (チ)	3,000俵以上 (リ)		
	比率	()%	()%	()%	()%	()%	()%	()%	()%	()%	()%	(100)%

		製炭量の大きき別								計(チ)=a [(イ)+…+(ト)]
企業製炭者	体数	500～1,000俵 (イ)	1,000～2,000俵 (ロ)	2,000～3,000俵 (ハ)	3,000～5,000俵 (ニ)	5,000～7,000俵 (ホ)	7,000～10,000俵 (ヘ)	10,000俵以上 (ト)		
	比率	()%	()%	()%	()%	()%	()%	()%	()%	(100)%

(5)自営製炭世帯について

①専業・兼業別戸数

自営製炭が専業 ①/A × 100 % が主 ②/A × 100 % が主 ③/A × 100 % が主
 () () ()
 ①+②+③=A

②居住地の旧市町村内外別戸数

旧市町村 ① 戸 旧市町村外 ② 戸 計③=A 戸
 (①+②)

③主な出荷先別戸数

農協へ①	森林組合へ②	製炭者の組合へ③	薪炭商の組合へ④	商人へ⑤	消費者へ⑥	計⑦=A [(①)+…+(⑥)]	(100)%
()%	()%	()%	()%	()%	()%	()%	(100)%

(6)集荷機関別の旧市町村内生産木炭集荷量(昭和34年度中の自営製炭世帯の木炭につき)

農協が①	森林組合が②	製炭者の組合が③	薪炭商の組合が④	商人が⑤	計⑥ [(①)+…+(⑤)]	(100)%
()%	()%	()%	()%	()%	()%	(100)%

2. 稼働炭が多数と製炭最盛月(昭和34年度中の製炭最盛月について)〔属地〕 ①稼働炭が多数 基 ②最盛の月 月

3. 木炭倉庫数(昭和35年8月1日現在)〔属地〕

		所 有 主 体 別										計(ル) [(イ)+(ロ)]
棟数	坪数	自営製炭世帯が単独で (イ)	自営製炭世帯が共同で (ロ)	企業製炭者 (ハ)	製炭者の組合 (ニ)	小計(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ) (ホ)	農協 (ヘ)	森林組合 (ト)	薪炭商の組合 (チ)	商人 (リ)	小計(ヘ)+(ト)+(チ)+(リ) (ニ)	

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計画区名	森林区番号	1	2	3	4	5
-------	-----	-----	-------	--------	-------	---	---	---	---	---

4. 焼 子 (属 地)

昭和34年度中に焼子として働いたものがある世帯数

	焼子が専業の世帯 (イ)	焼子が主の世帯 (ロ)	焼子が従の世帯 (ハ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]
実 数				
比 率	() %	() %	() %	(100) %

5. 製炭の動向 (属 地)

(1) 昭和34年度の自営製炭、企業製炭の旧市町村内製炭量は

① 昭和32年度に比べて → ① 1割以上減 () ② 1割以上増 () ③ 1割未満の増又は減 ()

② 昭和32年度からの年々の増減傾向は → ① 減少一方 () ② 増加一方 () ③ 増と減両方 ()

(2) 昭和34年度の自営製炭による旧市町村内製炭量は

昭和32年度に比べて → ① 1割以上減 () ② 1割以上増 () ③ 1割未満の増又は減 ()

(3) 昭和34年度の自営製炭世帯数は

昭和32年度に比べて → ① 減 () ② 増 () ③ 増減なし ()

① 1割以上減 () ② 1割以上増 () ③ 1割未満の増又は減 ()

(4) 昭和34年度の自営製炭世帯1戸当り製炭量は

昭和32年度に比べて → ① 減 () ② 増 () ③ 増減なし ()

(5) 昭和34年度の企業製炭者数は

昭和32年度に比べて → ① 減 () ② 増 () ③ 増減なし ()

(6) 昭和34年度中に広葉樹の新炭用原木がパルプ用として販売されている状況

販売された () 販売されなかった ()

6. 昭和33年度に自営製炭または焼子をやったが、34年度はやらなかったものがある世帯 (属 地)

ある ()										ない ()																			
自営製炭をやったものがある世帯															焼子をやったものがある世帯														
総 戸 数 (イ) (四)+(イ)	専業であったもの										兼業 であったもの 自営製炭 (チ)	総 戸 数 (リ) (五)+(リ)	専業であったもの										兼業 であったもの 焼子の (タ)						
	総 戸 数 (ロ) (六)+(ロ)+(イ)+(イ)	34年度自営製炭のかわりにやった主な仕事											総 戸 数 (ヌ) (七)+(ヌ)+(ロ)+(イ)+(イ)	34年度焼子のかわりにやった主な仕事															
		焼 子 を や っ た (ハ)	焼子以外の 林業賃 労働をや った (ニ)	林業以外の 賃労働 をやった (ホ)	そ の 他 (ヘ)	このうち 地元をは なれて行 ったもの (ト)	自営製炭 をやった (ル)	林業賃 労働をや った (ヲ)	林業以外 の賃労働 をやった (ワ)	そ の 他 (カ)				このうち 地元をは なれて行 ったもの (ヨ)															

【4】製 薪 (昭和34年度の) (属 地)

1. 販売用薪生産量

	生産主体別					計(ホ) [(イ)+(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)]
	★国営 (イ)	都道府県営 (ロ)	市町村営 財産区営(ハ)	私営 (ニ)		
普通薪	製炭m ³	製炭m ³	製炭m ³	製炭m ³	製炭m ³	
そだ	炭	炭	炭	炭	炭	

2. 主として人を雇って1,000束以上の販売用製薪を行った製薪者数

総 数 (イ) [(ロ)+(ハ)+(ニ)+(ホ)]	製 薪 量 の 大 き さ 別			
	1,000 ～ 5,000束 (ロ)	5,000 ～ 10,000束 (ハ)	10,000 ～ 50,000束 (ニ)	50,000束 以上 (ホ)

都道府 県 名	市 郡 名	町 村 名	旧 市 町 村 名	基本計 画 区 名	森林区 番 号	1	2	3	4	5
------------	-------	-------	--------------	--------------	------------	---	---	---	---	---

【5】林野の所有と保有〔属地〕

1. 50町以上の森林保有者

(1) 保有者数と保有森林面積

保有形態別	戸体数 (イ)	保有森林面積 (ロ)	(イ) に つ き		
			在 村 (ハ)	不 在 村 (ニ)	計 (ホ) [(イ)+(ニ)], (イ)とニ
個 人 ①	戸	町 反	戸	戸	戸
会 社 ②	コ		コ	コ	コ
社 寺 ③	コ				
共同その他 ④	コ				
計 [(①)+(②)+(③)+(④)] ⑤	戸	町 反			

(注) ○在村・不在村は、旧市町村内に居住しているかどうかによる。
○会社は本社によって在村か不在村かを定める。

平均と比率	$\frac{b}{a} =$ 町 反
	$\frac{b}{[2]のn} \times 100 =$ %
符号番号欄	I II III

(2) 保有者の主業

	自 営 業															職 員 動 務	賃 労 勤 働	そ の 他	計			
	農 業	林 業				漁 業・水産養殖業	鉱 業	製 造 業			建 設 業	卸売業・小売業		金融保険業・不動産業	運輸・電気・ガス					サービス業・その他		
		育 林 業	製 薪 炭 業	木 材 伐 出 産 業	狩 猟 業			製 材 業	木 材 加 工 業	製 造 業		木 材 商 業	新 炭 商 業								卸 売 業	小 売 業
	01	02	03	04	05	06	11	12	13	21	22	23	24	25	26	30	40	50				
個 人	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸	戸			
会 社	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ	コ			

(1)の1と一致

(1)の(イ)と一致

*2. 国有林に契約している部分林面積

*3. 国有林に契約している共用林野面積

共用林野の種類別面積	普通共用林野 ①	町 反
	薪炭共用林野 ②	
	特別薪炭共用林野 ③	
	簡易共用林野 ④	
	放牧共用林野 ⑤	
	計 [(①)+(②)+(③)+(④)+(⑤)] ⑥	

比率 $\frac{(②)+(③)+(⑤)}{[2]のh} \times 100 =$ %

5. 県(都道府)行造林地面積

分取するもの ①	町 反
地代を払うもの ②	
計 [(①)+(②)] ③	

6. 公有地へ分取林を設けている面積

(官行造林地と都道府県行造林地は除く)

県(都道府)有地へ ①	町 反
市町村有地へ ②	
財産区有地へ ③	
計 [(①)+(②)+(③)] ④	

*4. 官行造林地面積

7. 公有林野を地元民が共同や個人々々で利用している面積(分取林は除く)

所有形態別	利用の仕方	薪炭林として(イ)	採草地として(ロ)	放牧地として(ハ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]
都道府県有林 ①		町 反	町 反	町 反	町 反
市町村有林 ②					
財産区有林 ③					
計 [(①)+(②)+(③)] ④					

8. 個人有林への分取林

個人有林へ他のものが契約している分取林が

あ る () → (1)その発生の時期は → 昭和20年以前 () 昭和21年以降 ()
な い () (2昭和21年当時の分取林件数に 増加している 減少している 増減なし
比べて現在は () () ()

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計画区名	森林区番号	1	2	3	4	5
-------	-----	-----	-------	--------	-------	---	---	---	---	---

【6】育 林〔属地〕

1. 植林面積と主要樹種（昭和34年度中）

植付した土地の種類別面積					主要樹種（面積第1位◎、第2位○印）										
植付主体別	人工林の 伐採跡地へ (イ)		天然林の 伐採跡地へ (ロ)		山林でなか った土地へ (ハ)	計 (ニ) [(イ)+(ロ)+(ハ)]	ス ギ	ヒ ノ キ	アカ マツ	カラ マツ	エノ マツ	トド マツ	その他 針	ク ヌ ギ	その他 広
	町	区	町	区	町	区									
★ 国 営 ①															
公 営	都道府県営 ②														
	市町村営 ③														
	財産区営 ④														
私 営 ⑤	a		b		c +	d									
計(①+…+⑤) ⑥			ロ		ハ	ニ									

比	$\frac{a}{d} \times 100$	$\frac{b}{d} \times 100$	$\frac{c}{d} \times 100$	$\frac{i}{ニ} \times 100$	$\frac{ロ}{ニ} \times 100$	$\frac{ハ}{ニ} \times 100$
率	%	%	%	%	%	%

2. 植付本数など

(1) 最近普通に行なわれている反当り植付本数（私営についてだけ。上記1.で◎と○のついた樹種について）

スギ	ヒノキ	アカマツ クロマツ	カラマツ	エノマツ	トドマツ	その他計	クヌギ	その他広
本	本	本	本	本	本	本	本	本

(2) 最近普通に行なわれている反当り植付本数は、昭和21年頃に比べて

（私営についてだけ。上記1.で◎印がついた樹種につき）

増えている（ ） 減っている（ ） 同 じ（ ）

(3) 昭和34年度の植付苗木の種類別本数割合（私営についてだけ）

（都府県）	じかざし穂 (イ)	さし木苗 (ロ)	まき付苗 (ハ)	そ の 他 (ニ)	計 (ホ) [(イ)+…+(ニ)]
スギ	%	%	%	%	100 %
ヒノキ					100

（北海道）	じかざし穂 (イ)	さし木苗 (ロ)	まき付苗 (ハ)	そ の 他 (ニ)	計 (ホ) [(イ)+…+(ニ)]
トドマツ	%	%	%	%	100 %
カラマツ					100

(4) 最近普通に伐採されている林とその平均胸高直径（私営についてだけ。用材林・薪炭林別に、最も生産量が多い樹種それぞれ一つについて）

（用 材 林）

主要樹種名	最近普通に伐採されている林令	平均胸高直径
	年	cm

（薪 炭 林）

主要樹種名	最近普通に伐採されている林令
	年

（注）北海道は薪炭林については調査しない。

この林令は昭和26年頃に比べて

短かくなっている（ ） 長くなっている（ ） 同 じ（ ）

この林令は昭和26年頃に比べて

短かくなっている（ ） 長くなっている（ ） 同 じ（ ）

(5) 植付と用材林伐採の最盛の月（私営についてだけ）

植付の最盛の月 月

用材林伐採の最盛の月 月

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計画区名	森林区番号	1	2	3	4	5
-------	-----	-----	-------	--------	-------	---	---	---	---	---

【7】木材生産

1. 素材生產業

(1) 素材生産業者

経営 形態別	昭和34年度中に他人の立木を買って素材生産をやったもの				昭和34年度中に人を雇って他人の立木の伐採や搬出をやったもの		合計 (二) [(一)+(三)]
	素材生産のみ (イ)	素材生産と製材 (ロ)	素材生産その他 (ハ)	計 (二) [(イ)+(ロ)+(ハ)]	人 (ニ)	人 (ハ)	
個人 ①							
会社 ②							
共同 ③							
協同組合 ④							
森林組合 ⑤							
その他 ⑥							
計 ①+②+③+④+⑤+⑥ ⑦							

(2) 国営・公営と私営の50町以上の森林保有者で直営の伐採事業をやったもの〔属地〕

	昭和34年度中に旧市町村内の保有森林で直営の伐採をやったもの					
	★国 (イ)	営	都道府県営 (ロ)	市町村営 (ハ)	財産区営 (ニ)	私営の50町以上の 森林保有者団
事業体数	()	()	()	()	()	

(注) ○()内は該当あれば
○印
○(N)には個人・会社・社
寺、その他を含む

2. 素材生産量（昭和34年度中の）〔属地〕

(1) 人工林材・天然林材別生産量（直営生産だけでなく、立木販売も含む）

	★ 国有林材 (イ)	都道府県 有林 (ロ)	市町村 有材 (ハ)	財産区 有材 (ニ)	私有林材 (ホ)	計 Σ [(イ)+(ロ)+…+(ホ)]
人工林材 ①	m'	m''	m'''		m'	m''
天然林材 ②						
計 (①+②) ③	a	b	c	d	e	f

(注) 生産量はすべて
出石による

(2) 用途別生産量

(注) パルプ用にはチップ用を含む。ただし廃材によるものは除く

[illegible]
$$((1) \circ a = (2) \circ a, (1) \circ (b) + (c) + (d) = (2) \circ (b), (1) \circ e = (2) \circ c, (1) \circ f = (2) \circ d)$$

3. 薪炭材生産量（昭和34年度中につき、直営生産だけでなく立木販売も含む）〔属地〕

★ 国有林材 (イ)	都道府県有林材 (ロ)	市町村有林材 (ハ)	財産区有林材 (ニ)	私有林材 (ホ)	計 (ヘ) [(イ)+(ロ)+…+(ホ)]
面積m ²	面積m ²	面積m ²	面積m ²	面積m ²	面積m ²

【8】林業實勞働

1. 林業實勞働從事世帯数と人数

	農 家 (イ)	非 農 家 (ロ)	計 [(イ)+(ロ)]
昭和34年度中に30日以上 従事したものがいる世帯数	1	18	19
昭和34年度中に30日以上 従事した人数	4	4	8

2. 男女別平均賃金（私営についてだけ）〔属地〕

	育	苗	帆	付	伐木造材
男		内		内	内
女					

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計画区名	森林区番号	1	2	3	4	5
-------	-----	-----	-------	--------	-------	---	---	---	---	---

【9】地価・立木価〔属地〕

1. 業地売買価（私有林の最近の事例について）

2. 土地売買件数（私有林野につき、昭和34年度中）

最高 反当 円 最低 反当 円 台帳地目 山林 件 台帳地目 原野 件

3. 立木売買価（私有林の主要樹種で、最近普通に伐採されている林令のものにつき、最近の事例による）

用材林（生産量の主な樹種一つにつき）			薪炭林（生産量の主な樹種一つにつき）		
樹種名	最高	最低	樹種名	最高	最低
	0.278m ² 当	円 0.278m ² 当		0.278層積m ² 当	円 0.278層積m ² 当

（注）0.278m² = 1石

（注）0.278層積m² = 1層積石

【10】林産物市場〔属地〕

1. 旧市町村内林産物の主な市場

主な市場名	運搬方法（全なものに○印）				
	自動車	鉄道	河川	舟運	その他
(1) 製材用素材	()	()	()	()	()
(2) その他の素材	()	()	()	()	()
(3) 製材品	()	()	()	()	()
(4) 薪炭	()	()	()	()	()

（主な市場がその旧市町村のときは市場名は「地元」と記入し、運搬方法は記入しない）

2. 林産物消費工場

(1) 製材工場 → 工場数 kW数 昭和34年中の 素材消費量 m³

(2) その他の消費工場

（注）腐材だけを消費するチップ工場は除く

	素材を消費するもの									
	パルプ工場	合板工場	鉱山	チップ工場	木製農具工場	屋根板工場	樽桶工場	経木折箱工場	木毛工場	割箸工場
工場数										
昭和34年中の消費量										
	素材を消費するもの（つづき）					薪炭を消費するもの				
	マツナシ木工場	鉛筆板木工場	計			腐炭工場	二酸化炭素工場	成型木炭工場	計	
工場数										
昭和34年中の消費量										

【11】その他

1. 旧市町村内の車道・牛馬車道の延長〔属地〕 km

（注）○林道以外の私道は除く
○旧市の市街地の道路はすべて除く

2. 林業用機械の所有者数と台数（私有のものだけ）

	個人有		会社有		その他有		計	
	所有者数 (イ)	台数 (ロ)	所有者数 (ハ)	台数 (ニ)	所有者数 (ホ)	台数 (ヘ)	所有者数 (イ)+(ハ)+(ホ)	台数 (ロ)+(ニ)+(ヘ)
チェーンソー								
集材機								
架線用索								
架線用線								
フッシュ・クリーナー								

3. 世帯数と人口〔属地〕

（注）準世帯は除く

総世帯数 戸 総人口 人

都道府県名	市郡名	町村名	旧市町村名	基本計画区名	森林区番号	1	2	3	4	5
-------	-----	-----	-------	--------	-------	---	---	---	---	---